

### 第39回山形県高等学校新人体育大会空手道競技実施要項

1. 主催 山形県高等学校体育連盟・山形県教育委員会・(公財)山形県スポーツ協会
2. 共催 天童市・山形県空手道連盟
3. 主管 山形県高等学校体育連盟空手道専門部  
村山地区高等学校体育連盟
4. 期日 令和5年11月3日(金)  
(1) 公式練習 11:00～12:30  
(2) 計量 9:00～11:00  
(3) 審判会議 13:00～13:10  
(4) 監督会議 13:10～13:20  
(5) 開会 13:30～13:45  
(6) 競技 14:00～17:00  
令和5年11月4日(土)  
(1) 審判会議 8:45～8:55  
(2) 競技 9:00～17:00  
(3) 閉会 17:00～18:00
5. 会場 天童市スポーツセンター主競技場  
〒994-0004 天童市大字小関1230 電話(023)654-6100
6. 競技規定 令和5年度(公財)全日本空手道連盟制定の競技・審判規定に準じて行い、運用については全国高等学校体育連盟空手道専門部競技規定・申し合わせ事項、並びに山形県高等学校体育連盟空手道専門部申し合わせ事項による。
7. 種目並びに出場制限
  - (1) 男子団体組手5人制 (1校チーム正選手5名, 補欠3名)
  - (2) 男子団体組手3人制 (1校チーム正選手3名, 補欠1名)
  - (3) 女子団体組手5人制 (1校チーム正選手5名, 補欠3名)
  - (4) 女子団体組手3人制 (1校チーム正選手3名, 補欠1名)
  - (5) 男子団体形 (1校チーム正選手3名, 補欠3名)
  - (6) 女子団体形 (1校チーム正選手3名, 補欠3名)
  - (7) 男子個人組手 (各校参加者は最大10名までとし、階級の人数制限なし)
  - (8) 女子個人組手 (各校参加者は最大10名までとし、階級の人数制限なし)
  - (9) 男子個人形 (4名)
  - (10) 女子個人形 (4名)
8. 競技方法
  - (1) 形競技は得点方式とし組手競技はトーナメント方式とする。団体種目について出場チームが5チーム以内の場合はリーグ戦方式を実施する。
  - (2) 団体組手競技・団体形競技において登録された選手の交代は自由であり当該試合前にオーダー用紙を大会本部に提出するものとする。
  - (3) 組手競技において、(公財)全国高等学校体育連盟空手道部制定の安全具(男子5点セット, 女子4点セット)を着用しない者の出場は認めない。
  - (4) 個人形競技の第1ラウンドは(公財)全日本空手道連盟第1・2指定形とする。決勝ラウンドは(公財)全日本空手道連盟得意形とする。最低2つ必要。  
参加人数が少ない場合は、抽選会後顧問会議で形競技の進め方について協

議する。

- (5) 団体形競技の第1ラウンドは(公財)全日本空手道連盟第1・2指定形とする。  
決勝ラウンドは(公財)全日本空手道連盟得意形とする。  
最低2つ必要。

参加校が少ない場合は、抽選会時に顧問会議で形の競技の進め方について協議する。

但し、第1指定形・第2指定形及び得意形は空手道競技規定(JKF2019年度初版)の「付録7：指定形リスト」並びに「付録8：得意形リスト」から選択しなければならない。

- (6) 個人種目において登録された選手の交代は認めない。

9. 個人組手の階級については下記の表のとおり。但し、着衣分として0.5kgと計測器測定幅として±0.5kgを考慮した、当日の測定値幅を下記のように定める。

男子個人組手		女子個人組手	
-55Kg級	56.0Kg未満	-48Kg級	49.0Kg未満
-61Kg級	55.0Kg以上 62.0Kg未満	-53Kg級	48.0Kg以上 54.0kg未満
-68Kg級	61.0Kg以上 69.0kg未満	-59Kg級	53.0Kg以上 60.0Kg未満
-76kg級	68.0Kg以上 77.0kg未満	-66Kg級	59.0Kg以上 67.0Kg未満
+76kg級	76.0Kg以上	+66Kg級	66.0Kg以上

男女個人組手に出場する全ての選手は、計量時間内に計量を受け、参加資格確認を受けなければならない。

計量日時 令和5年11月3日(金) 9:00~11:00

※この時間帯であれば何度でも計量できる。

実施場所 男子 本部前 女子 更衣室

服装 計量の服装は、男女ともに上衣はTシャツ(半袖)、下衣はスパッツ(ハーフサイズ)とする。包帯・サポーター等の着用は一切認めない。計測値から0.5Kgを引く。

棄権 この時間で計量を受けず、あらかじめ届け出た階級の体重区分に適していない選手は棄権となり、個人組手出場の権利を失う。(個人組手には出場できないが、その他の種目には出場できる) 体重区分に適していないというのは、規定体重を超えた場合だけでなく、規定体重に達していない場合も含む。(当日は、大会審判員が計量をおこなう)

減量指導 試合に出場を希望する選手は、発育・発達過程にある高校生であることを考慮し、無理な減量をおこなってはいけない。(全国高体連空手道部HP参照)

10. 審判員 全国高等学校体育連盟空手道専門部公認審判員並びに山形県高等学校体育連盟空手道専門部が要請した全空連公認審判員とする。

#### 11. 参加資格

- (1) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校に在籍する生徒であること。
- (2) 選手は、各県高等学校体育連盟に加盟している高等学校の生徒で、当該競技要項により、東北大会参加の資格を得たものに限る。
- (3) 年齢は平成17年4月2日以降に生まれた者とし、同一学年の出場は1回限りとする。但し特例として、中国等帰国生徒については適用しない。
- (4) 転校後6ヶ月未満の者の参加は認めない。ただし、一家転住などやむを得ない場合は各県高等学校体育連盟会長の許可があればこの限りではない。
- (5) 団体は男女別1校1チームとする。全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成チームは認めない。
- (6) 出場する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する校長の承認を必要とする。
- (7) 参加資格の特例

ア) 上記(1)(2)に定める生徒以外で、当該競技要項により大会参加資格を満たすと判断され、各県高等学校体育連盟が推薦した生徒については、別途定める規定に従い大会参加を認める。

イ) 上記(3)の但し書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は同一競技3回限りとする。

(8) 監督・引率

ア) 引率責任者は、団体の場合は校長が認める当該校の職員とする。個人の場合は校長が認める学校の職員とする。また、校長から引率を委嘱された部活動指導員(学校教育法施行規則78条の2に示された者)も可とする。但し、部活動指導員に引率を委嘱する校長は、都道府県高体連会長に事前に届ける。

イ) 監督は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。

ウ) 各都道府県における規程があり、引率・監督者がこの基準より限定された範囲内であればその規程に従うことを原則とする。

(9) (公財)全日本空手道連盟の令和5年度会員登録者であること。

12. 参加料 大会参加料は、1名400円とする。(監督・コーチ・選手)

※参加料は組合せ抽選会時に持参すること。参加料の納入がない申し込みは、正式な申し込みとは認めない。

13. 表彰 各種目とも第3位までとする。

14. 応急処置 出場選手が競技中負傷した場合は応急処置を行うがその他の責任は負わない。

15. その他 健康保険証を持参すること。

16. 申込方法 申込用紙に記入の上、メールで申し込むこと。

(1) 申込締切日 **令和5年10月12日(木) 必着**

(2) 申込先 〒996-0051

新庄市松本596

山形県高体連空手道部事務局次長 叶内史也

電話 0233-22-1562 FAX 0233-22-0095

メール fumibo0238@gmail.com

※原本は校長の承認を得た上で、抽選会の時に持参すること。

引率教員のつかない選手のみ申し込みは受け付けない。

17. 抽選会 日時 **令和5年10月19日(木) 13:00より**

会場 **山形県立天童高等学校**

天童市大字山元850 電話 023-653-6121 FAX 023-653-6188

※欠席の場合は山形県高等学校体育連盟連空手道専門部に一任したものと  
する。

18. その他 本大会は、第43回全国高等学校空手道選抜大会の山形県予選会及び第37回東北高等学校空手道選抜大会の予選会を兼ねるが、最終決定は理事会において決定する。

## ( 参 考 )

### <申し合わせ事項>

1. 団体戦・個人戦共に**次年度開催の県高校総体のシード決め**を行う。
2. リーグ戦(予選・決勝)について申し合わせ事項
  - ①予選リーグの時間ポイントは試合時間1分30秒8ポイント差とする。
  - ②予選リーグでは勝敗を必ず決める。

勝利者数・総得点が同点の場合は代表戦を行い、先取なしで同点の場合は必ず判定により勝者を決定する。
  - ③勝率が同じであれば勝利者数の多いチームが勝ちとなる。
  - ④③が同じであれば総得点の多いチームが勝ちとなる。
  - ⑤各リーグ上位1位、2位を選出する。
  - ⑥各リーグの1位と2位を別ブロックにする。
  - ⑦決勝トーナメントでは勝敗が決した時点で競技終了とする。
  - ⑧決勝トーナメントの試合時間は2分とし8ポイント差とする。
3. 決勝トーナメントについて申し合わせ事項
  - ①決勝リーグの時間ポイントは試合時間2分8ポイント差とする。
  - ②決勝リーグでは勝敗を必ず決める。

勝利者数・総得点が同点の場合は代表戦を行い、先取なしで同点の場合は必ず判定により勝者を決定する。
  - ③勝率が同じであれば勝利者数の多いチームが勝ちとなる。
  - ④③が同じであれば総得点の多いチームが勝ちとなる。
  - ⑤④でも同じであれば再試合を行う。
4. 全国選抜大会が共催・又は開催地区の場合は個人戦において第5代代表戦を実施する。
5. 昨年度より団体組手5人制と3人制が種目として追加されました。

空手道専門部顧問会によって昨年度は下記のように決定しました。

  - ①出場校は3人制か5人制のどちらに参加するか決める
  - ②参加校1校であればその学校を1位とする。
  - ③参加校が3校以上であれば試合実施し上位2校を決める。
  - ④東北選抜大会の出場校が不足した場合顧問会議で大会参加校が出場を希望した場合顧問会議で決める。

※東北選抜大会男女団体組手の出場枠

5人制2チーム	県代表枠	全国選抜の出場枠は東北から5チーム
3人制2チーム	県代表枠	全国選抜の出場枠は東北から1チーム